

ローレンス校のボランティア活動について

はじめに

この冊子は、ローレンス校に通うお子さんを持つ日本人保護者全ての方に、ボランティア活動の本当の意味を理解し、興味を持っていただき、有意義にボランティア活動に参加していただきたいという目的で作成されました。

ローレンス校での日本人の過ごしやすい環境は、同じマサチューセッツ州内の学校でも、本当に珍しく、長年の日本人ボランティア活動の努力のおかげだとも言えます。このような環境があることに感謝の気持ちをこめて、ご自分にできる範囲、できる方法で、日本人保護者全員の参加を目指しています。

みなさん一人一人の活動が、このあたたかな環境の中で子供たちが過ごし続けていける、大きな支えとなっています。みなさんのご理解、ご協力をお願い致します。

この冊子について、質問や疑問などありましたら、私にまでお気軽にお尋ね下さい。

2021年9月 ローレンス校EL 河合 亜希子

***今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年のPTOイベントが予定通り実施されるかはその時の状況次第です。最新の日程は PTO Website を確認してください。**

途中入学された方は、お子様のローマ字と漢字のお名前、クラス名、電話番号、メールアドレスを 入学して1週間以内に japaneselawrencepto@gmail.com まで連絡してください。日本人家庭連絡名簿の更新、月一回の日本人向けニュースレターの配信や、亜希子先生やPTOからの日本人向けの連絡に用います。また年度途中で、電話番号やメールアドレスが変更になった場合も、同様に連絡してください。

	I	II	III	IV	V	VI
とりあえず大まかに日本人ボランティア活動について知りたいという方	★	★		★	★	
ローレンス校全体のボランティア活動について知りたいという方	★	★	★	★	★	
ローレンスでのボランティア活動を経験して分かっているという方			★ (4,6)			★
ひととおり活動してみて、いろいろな疑問がわいているという方	★	★	★ (4,6)			

目次

I. アメリカと日本でのPTO (PTA) 活動のとらえ方の違い	3
II. ボランティア活動とは?	4
III. ローレンスでのボランティア活動.....	5
III-1) ローレンス校PTO (Lawrence School Parent Teacher Organization) の目的	5
III-2) PTOの執行部はどんな人から成り立っているのでしょうか?	6
III-3) PTOイベントの年間スケジュール	7
III-4) PTOイベントの内容とその収益について	8
III-5) どのようにローレンス校のPTOに協力出来るのでしょうか?	9
III-6) どうして、ローレンス校にはたくさんのボランティア、イベントがあるのでしょうか?	9
IV. ローレンスの日本人ボランティア活動	11
IV-1) ローレンス校の日本人ボランティア、イベントの始まりとその意義	11
IV-2) ローレンス校の日本人主催のボランティア、イベント	12
☆Japanese Fair (11月)	12
☆ふらんしす通りから (月刊)	14
☆SET-J (Sending Educators To Japan):ローレンス校の教諭を日本に派遣する委員会 (通年)	15
V. ボランティアをやってみたいと思ったら、、、	19
VI. よくある疑問・質問	20

I. アメリカと日本でのPTO (PTA) 活動のとらえ方の違い

PTA (Parent Teacher Association), PTO (Parent Teacher Organization) とは、何なのでしょう？

<日本では>

日本では、「父母と先生の会」と訳されていますが、文字通り、「親と教師で構成され、両者が対等の立場で学習し、自己を高めていく団体」です。

日本のPTAは、第2次世界大戦後の混乱期に、日本教育の民主的改革を進めるために来日したアメリカ教育使節団により紹介され、1948年ごろ始まりました。戦後の混乱期と経済的に乏しい時代に誕生したため、日本のPTAは、学校施設の整備、教材教具の購入など、学校の後援会的な色彩が強くなりました。

<アメリカでは>

一方、アメリカのPTAは1897年に児童愛護と教育環境の整備を目指したアメリカの母親運動からスタートしました。アメリカでは、あくまでPTAは保護者たちの自律的な組織によって運営される団体であり、学校の付属機関ではありません。アメリカのPTAは、学校、家庭、地域社会の架け橋であり、コミュニティーが学校をサポートすることにより、地域社会の環境を整備していくことにもつながります。学校PTA活動が盛んで、教育水準が高い地域は地価も高くなります。

公的な税金はもちろん、学校教育に使われますが、PTA活動などによる個人的な寄付も、学校教育をさらに豊かにすることに使われます。たとえばブルックラインには、各学校のPTO活動のほかに、Brookline Education Foundation (BEF, <http://brooklinefoundation.org/>) やBrookline High School Innovation Fund (以前は21st Fundという名前でした。 <http://bhs21stcenturyfund.org/>) という、教育基金もあります。地域社会の個人の寄付が、学校教育に関わる先生の活動や生徒たちのプログラムの助成金となることも、日本の公立学校におけるPTA活動との大きな違いです。

II. ボランティア活動とは？

ボランティアとは、もともと「志願者」「有志者」という意味です。誰もが、自分で出来ることを自分の意志で周囲と協力しながら無償で行う活動のことをいいます。

ボランティア活動は、一般的に4原則（自主性、社会性、無報酬、創造性）で説明されています。

自主性、自発性	社会性、連帯性	無償性、無給性	創造性、開拓性、先駆性
<ul style="list-style-type: none"> 自分から進んで行う活動で、人から命令や強要されるものではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会にある様々な課題について、個人の関心や動機から始まったことでも活動することによって地域社会に影響を与え、その活動を通じて他の人との関わりができ、新たな人間関係が育まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動は活動の見返りを求めない活動で、誰かに認めてもらうために行うものではありません。ボランティア活動の報酬は自分の満足感と人と関わることによって得られる人間関係です。 	<ul style="list-style-type: none"> 独自の考えによって、先駆的な、創造性豊かな活動ができます。自分の趣味や得意なことを生かして活動してみるのがいいでしょう。

過去のボランティアミーティングで前校長先生ご自身も子供の野球チームのコーチのボランティアをされていたと話されており、日本人保護者に対しても、「まず、家庭が最優先。そして余裕があるなら、できる範囲で、すすんで参加して欲しい。」と述べられています。学校や地域でボランティア活動をする機会があれば、積極的に参加してみましょう。色々参加することで、自分にあった活動を見つけることが出来るかもしれません。

Q) ありがとうもいわれず、自分の努力が、誰にも知られません。やらなくてもいいのかも？

A) 誰かに認めてもらうために行うものではありません。何かが変わる、学校のため、子供のため、自分のためと考えてみてはどうでしょうか。

また、このローレンス校での日本人ボランティア活動はその時点では目に見えなくても、あなたのお子さんと同じように、これからずっと先までローレンス校へやってくる未来の日本の子供たちのために、このあたたかい親日的な環境を残していくためのものであるということを理解していただきたいと思います。

またアメリカでは日本のように「おつかれさま」「ありがとう」とねぎらう習慣はあまりなく、楽しんだらそれでよしとします。ボランティア活動は、あくまで自分から進んで行う活動であり、地域社会を良くしていくためにして当然のものだという現地の方も多いです。

III. ローレンスでのボランティア活動

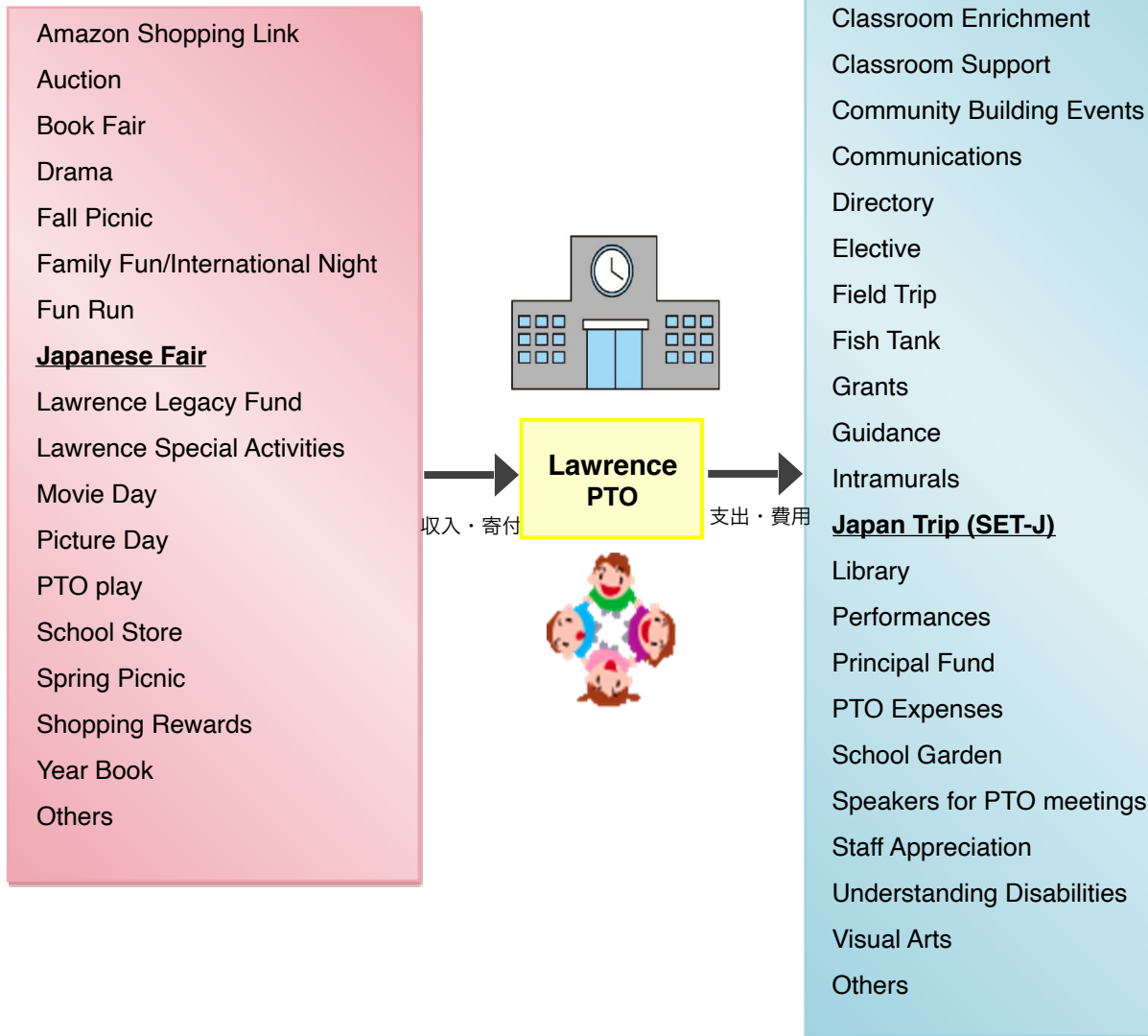
III-1) ローレンス校PTO (Lawrence School Parent Teacher Organization) の目的

ローレンス校PTOホームページ (<https://www.lawrenceschoolbrookline.org/>) には、PTOは保護者と学校が提携して活動するもの、と書かれています。PTOでは、保護者と学校が協力することにより、地域社会の環境をより向上させ、ローレンス校生徒たちの経験をより豊かにさせることを目的としています。PTOは、すべてのクラスにさまざまな活動や情報を提供し、また家族全体で楽しめるイベントを支援しています。

ローレンス校の保護者は皆、自動的にPTOの一員となります。皆さんの時間や能力が、PTOを作ります。皆さんにできることが何かあります。是非、積極的にPTOミーティングや各イベントに参加してみましょう。

PTOでは毎年\$70,000以上（1生徒\$100以上）の補助をしています。例えば、以下のことを支援しています。

- ・ 全教師へのクラス必需品代
- ・ 全学年への遠足の交通費用
- ・ 教師への年間を通した奨学金
- ・ PTOホームページや週刊の電子メール(PTO Newsletter)の維持費、オンライン学校住所録の管理費
- ・ Performing and Visual Arts Programs (演劇や美術などのプロの公演を招待するプログラム)の援助
- ・ 早朝、または放課後に行われているスポーツの100%の費用
- ・ 図書室の新書購入代、著者学校訪問のための費用
- ・ SET-J (教師の日本での研修旅行プログラム) 資金
- ・ コミュニティーイベント費用
- ・ 学校やPTOがスポンサーとなる活動へ参加するために援助が必要な生徒への補助金



PTOでは電子メールで毎週、学校行事や連絡事項をPTO Newsletterとして、皆さんに送信しています。学校とPTOでは個人情報共有することが出来ませんので、PTOメールリストに登録してほしい場合は、<https://lawrenceschoolpto.membershiptoolkit.com/>のリンクを開けて、ログインしてください。メールアドレスをお持ちでない方、PTOメールリストに登録してほしい方は、毎週学校のホームページ (<http://lawrenceschoolbrookline.org/>) を見たり、学校正面ロビーのPTO掲示板に掲示してあるPTO Newsletterを利用することもできます。2016年からはFacebookページ (www.facebook.com/LawrencePTOBrookline) もできましたので、どうぞこちらもご活用ください。

III-2) PTOの執行部はどんな人から成り立っているのでしょうか？

執行部は校長とPTO役員（会長1~3人、副会長1~4人、書記1~2人、会計1~2人、委員5~10人）からなります。PTO役員は毎年5月のPTO meetingで立候補者、推薦者の公示、6月のPTO meetingで承認の選挙が行われます。PTO役員や各担当者が、PTOの一員であるローレンス校の保護者の皆さんに、各ボランティア、イベントの参加を呼び掛けます。

III-3) PTOイベントの年間スケジュール

参考までにローレンス校PTOの主なイベントの年間カレンダーを次ページにあげてみました。日にちは変わることもありますので、ローレンス校PTOカレンダー (<https://www.lawrenceschoolbrookline.org/calendar>) を確認して下さい。各イベントの詳細については、次の項III-4) (p 8) をご参照ください。

- PTO events calendar -

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年のPTOイベントが予定通り実施されるかはその時の状況次第です。最新の日程は [PTO Website](#) を確認してください。

(<https://www.lawrenceschoolbrookline.org/calendar>)

■ First Day of School	9 September	<ul style="list-style-type: none"> ■ Coffee and Kleenex ■ New Family Welcome ■ Fall Picnic
	10 October	<ul style="list-style-type: none"> ■ Food Fest ■ Picture Day ■ Lawrence Legacy Fund Appeal
■ Thanksgiving Vacation	11 November	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>Japanese Fair</u> ■ Apple Pie Making
■ December Vacation	12 December	<ul style="list-style-type: none"> ■ After School Movie ■ Gingerbread House
	1 January	<ul style="list-style-type: none"> ■ Staff Appreciation ■ Family Skate
■ February Vacation	2 February	<ul style="list-style-type: none"> ■ METCO Staff Appreciation ■ Brookline to Boston Bowling
	3 March	<ul style="list-style-type: none"> ■ Family Fun @ International Night
■ April Vacation	4 April	<ul style="list-style-type: none"> ■ PTO Play ■ Art Show ■ <u>SET-J Trip</u>
	5 May	<ul style="list-style-type: none"> ■ Staff Appreciation ■ Used Book Fair
■ Last Day of School	6 June	<ul style="list-style-type: none"> ■ Spring Picnic ■ Fun Run ■ Field Day ■ 8th grade Graduation Reception
	Summer	

III-4) PTOイベントの内容とその収益について

前述したように、ローレンスPTOでは毎年\$70,000以上の収益を得て、学校や生徒たちへのサポートをしています。それでは、どのようにこれらの収益は入ってくるのでしょうか？(ABC順)

イベント名 (時期)	内容
Apple Pie Making (11月)	放課後、高学年、保護者、先生で、アップルパイを作成します。アップルパイの売り上げはPTOに寄付され、半分が8年生の卒業旅行代に、半分が貧しい子供たちへの奨学金に用いられます。
Auction (3~4月)	PTOがさまざまな店のギフトカードやスポーツ、趣味などのクラス、サマーキャンプ、野球やアイスホッケーの観戦券などの寄付をお願いします。ローレンス校保護者のみがこのオンラインオークションに参加することができ、一定期間内で、一番高く競り落とした人に物品が渡され、売り上げはすべてPTOに寄付されます。
Book Fair (5月)	5月末の学校での大規模な古本セールは、保護者から寄付された古本が売られ、売り上げはPTOにすべて寄付されます。
Drama (6-8年-冬、3-5年-春)	放課後に希望した生徒たちの演劇のクラスがあります。このクラスの費用は、演劇担当の先生への謝礼、衣装などの経費に用いられますが、残りはPTOに寄付されます。また、観劇代もPTOに寄付されます。
Fall Picnic (9月)	新学期にあたり、夕方から、校庭でピクニックが催されます。校長先生や副校長先生、各クラスの担任、保護者たちと自由に歓談できる機会です。お弁当を持参したり、ピザやBaked goodsを買うこともできます。売り上げはPTOにすべて寄付されます。
Family Fun @ International Night (3月)	寒くて何もすることがない時に、学校で楽しもうという、お祭りのようなイベントです。各種ゲーム、スポーツ、食品販売、映画鑑賞などが楽しめます。色々な国の文化を紹介するイベントInternational Nightも合わせて行います。入場料はPTOにすべて寄付されます。
Food Fest (10月)	National Food Dayにあわせて、食・健康に関するゲームや展示が行われます。ラッフル(くじ引き)などの売り上げがPTOにすべて寄付されます。
Fun Run (6月)	低学年は校庭を、高学年は学校外のMuddy riverまでを走って楽しむイベントです。家族全員で参加することもできます。Baked Goodsや音楽も楽しめます。参加費はPTOにすべて寄付されます。(2013年はボストンマラソンのテロに対する基金に全額寄付されました。)
Gingerbread House Making (12月)	放課後、8年生指導のもとジンジャーブレッドハウスを作成します。参加費はPTOに寄付され、8年生の卒業旅行代に用いられます。
Japanese Fair (11~12月)	学校生徒や家族、先生を対象に、日本食をみんなで楽しむイベントです。売り上げはPTOにすべて寄付されます。(IV-2) ローレンス校の日本人主催のボランティア、イベント参照)
Lawrence Special Activities (秋、冬、春)	放課後にテニスやバレエ、空手などのスポーツ、クッキング、サイエンスなどのクラスが6-10週間、開催されます。講師は専門の先生やローレンス校の先生、また保護者がされます。LSA会計はPTO会計とは別ですが、毎年、LSAクラス費用から\$10,000以上がPTOに寄付されます。
Lawrence Legacy Fund (10月)	通年寄付が出来るようになっていますが https://www.lawrenceschoolbrookline.org/annual-appeal 、10月にLawrence Legacy Fund Appeal weekとして、PTOから全家庭に全員参加の寄付を呼び掛けます。日本とは違って、一律にPTA会費を請求するのではなく、各自が自由にPTOに寄付できるようになっています。毎年\$50,000近くこのFundより集まります。

Movie Day (秋、春)	先生との保護者面談がある時期（秋と春）に、毎週一回ずつEarly release day（12時40分まで授業）が3~4週間あります。そのEarly release dayの際に、PTO主催で映画を上映して、2時半まで生徒を預かります。映画のチケット代はPTOにすべて寄付されます。
Picture Day (10月)	新学期のクラス写真、個人写真が撮影されます。写真の購入代20%がPTOに寄付されます。
PTO play (3月)	脚本、演出、音楽に至るまで全てを保護者や先生が行う劇です。観劇料はPTOにすべて寄付されます。
School Store (Lawrence Logo wear) (通年)	放課後にローレンスPTOグッズ（鉛筆、水筒など）を販売したり、3月から春にかけてはローレンスオリジナルTシャツが販売され、その売り上げはすべてPTOに寄付されます。
Spring Picnic (6月)	学年末にあたり、Fall Picnic同様、夕方から学校校庭でピクニックが催されます。春のピクニックには子供たちに大人気のCake Walk（椅子取りゲームの要領で椅子にすわり、なおかつくじ引きで当たった番号のいすに座った人がケーキを丸ごともらえるというゲーム）もあります。売り上げはPTOにすべて寄付されます。
Shopping Rewards: A m a z o n S m i l e Shopping Link (通年)	アマゾンスマイルのサイトからAmazonを利用すると、その買った商品の0.5%がPTOに寄付されます。 アマゾンスマイルリンクの使用方法: 1. AmazonSmileのリンクへ https://www.aboutamazon.com/news/community/how-to-sign-up-for-amazonmile 2. Visit Smile Amazonをクリックし、Amazonと同じアカウントでサインインする 3. チャリティー先として、Lawrence School Parent Teacher Organizationを選択（見つからない場合は lawrence school brooklineで検索してください）し、スタートショッピング！
Year Book (6月)	PTOで作成した全校生対象の写真集の売り上げがPTOに寄付されます。

このようにPTOにはたくさんのイベントがあり、皆さんがイベントに協力、参加することで、PTO会計は成り立っています。

III-5) どのようにローレンス校のPTOに協力出来るのでしょうか？

まずは、積極的にPTOミーティングや各イベントに参加してみましょう。毎月のPTOミーティングやPTOホームページでは、上述のイベントをお手伝いするボランティアも呼びかけています。余裕があれば、PTOホームページのボランティアのページ<https://www.lawrenceschoolbrookline.org/volunteer>、<https://www.lawrenceschoolbrookline.org/groups>を見て、担当者に連絡をとってみましょう。最後のVI.よくある疑問・質問の項(p20)にも、ローレンス校全体のボランティア活動の種類と内容について説明してあります。参考にしてみてください。

III-6) どうして、ローレンス校にはたくさんのボランティア、イベントがあるのでしょうか？

他のブルックライン公立校に比べ、ローレンス校のボランティア、イベントが多いという声が聞かれます。その理由として、各学校のPTOごとに環境や方針、生徒数が違うということがあげられます。

例えば、Florida Ruffin Ridley 校（旧Coolidge Corner校）では、Spring CarnivalとAuctionだけで、\$30,000~\$40,000もの収益があります。これは、Coolidge Corner近くで、多くの店舗からの寄付があること、多くの一般人が誰でも参加できることなどがあげられます。また、Runkle校、Heath校、Lincoln校は、裕福な家庭、一軒家住まいの家庭が多く、一家庭で、\$1,000~\$3,000の寄付があることも珍しくありません。それに対し、ローレンス校は、小さなアパートやコンドミニアム住まいの家庭が多く、また、国際色豊かで、生徒の入れ

替わりが激しいことも特徴的です。残念ながら、Florida Ruffin Ridley 校よりは商店街からも離れているため、店舗からの寄付もあまり期待できません。

PTOの方針の特徴として、ローレンス校はPTOから各生徒への補助も多いことがあげられます。遠足代を毎回\$40以上支払う学校もありますが、ローレンス校ではPTOからの援助が出るので10ドル前後で済んでいます。このように、各学校のPTOによって、収入支出の方法に違いがあります。

日本語ELのあるLincoln校とローレンス校がよく比較されますが、ローレンス校の日本語ELの前身は古く、1979年からであり、Lincoln校に常勤の日本人ELの先生が配属されたのは、2010年からです。40年以上にわたるELの先生方と日本人保護者による日本人への理解を得るための努力の結果（経緯の詳細はIV.ローレンスの日本人ボランティア活動p11を参照）、ローレンス校では、2018年5月の時点で722人の全校生徒中、86人、約12%が日本人生徒です。（ちなみにEL生徒数は約54%が日本人、残りが他の国の生徒です）となっています。Lincoln校の日本人保護者による主なボランティア活動としては、10月末の日曜日に学校全体のイベントとして開催されるPumpkin Festivalがあり、その中で、日本食販売やバザー、日本文化の紹介を行っているそうです。ローレンス校でも過去に2月の金曜日の晩のFamily Fun Nightで、日本食販売と、日本文化の紹介を行っていましたが、日本人家族数の減少、金曜日の晩は日本語学校の前日のためお手伝いが少ない、などの理由で、2008年を最後に中止となりました。その代わりとして、Japanese Fairで、日本食、日本文化を紹介することになっています。（以前は秋のJapanese Food Fairと春のJapanese Fun Fairがありましたが、2015年から日本人だけのフェアは秋のJapanese Fairのみとなりました。）

このように、各学校の背景、環境の違いなどにより、PTOの活動も異なるというわけです。

IV. ローレンスの日本人ボランティア活動

IV-1) ローレンス校の日本人ボランティア、イベントの始まりとその意義

ローレンス校の日本人ボランティア、イベントはどのように始まったのでしょうか？ その意義について

まず、1970年代初めにカリフォルニア州で「教育の機会均等」に関する法律が通り、全米で初めて外国人に対する英語教育「第二言語としての英語」を課すことが義務づけられました。これを受け、メイフラワー号以来の長い移民受け入れの歴史のあるマサチューセッツ州は、すぐにこれに倣い、米国で2番目の英語教育をマサチューセッツ州でも始めることとなりました。こうして、ブルックラインで日本人最初の「過渡期二か国語教育」の教師として採用されたのが、白浜先生（亜希子先生の前々任の先生）です。

当初は二か国語教育を行なう先生は、ブルックラインの町にある学校を巡回する方法を取っていたため、学校の間を車で行き来するのに時間が取られ、実際に教える時間はごくわずかなものでした。そこで白浜先生が、一カ所の小学校でまとめて行ないたいという要望を出し、たまたまブルックライン教育委員会が考え始めていたことと偶然一致したため実現し、1979年からローレンス校は日本人受け入れ校となりました。ところが、ローレンス校でも、当初は、全く日本人に対する理解のない状態であり、教室もなく、授業の度に空き部屋を探していました。

そのような中、白浜先生は、日本文化の紹介を積極的に行ない、日本人保護者によるバザー、手芸などの日本文化の紹介と日本食販売を推進されてきました。これがJapanese Food Fair, Japanese Fun Fairの始まりです。こうした結果、急速に日本人に対する評価が変わり、また待ち望んだ部屋をもらえるようになりました。今では日本食は大変な人気で、当初は日本の子供が持参したお昼のおにぎりを見て、海苔をBlack paperだと笑っていたアメリカの子供達が、競って自分の昼食と交換してくれと頼む姿が多くなって来ました。昼食の際にお箸やお弁当箱を普通に使い、また、ほとんどすべての生徒が折り紙をしたり、ゆかたを着たことがある、日本のこいのぼりやひな祭りを知っているといった環境は、これらのフェアやクラス内でのボランティア（キンダーの日本の行事紹介や2年生の社会での日本の授業を含む）などのローレンス校の日本人の長年の努力の結果だといえるでしょう。このような環境は同じマサチューセッツ州内の学校でも本当にめずらしいものです。また、校長先生からも「ローレンス校の中の日本語ELプログラムや日本人の活動は、学校の多様性の重要な要素であり、大変貴重なものだ」とのコメントをいただいています。短期滞在の日本人家庭が多いローレンス校の中で、たくさんの現地の方々が、私たちの活動を大変貴重だと思って下さっているという事実は非常にありがたいものです。

SET-Jについて

また、ローレンス校と別に、ボストン日本人会、在ボストン日本領事館、ボストン日本語学校、メッドフォード教育委員会が後援してアメリカ人教員を日本に派遣して、日本の教育、文化、習慣などを体験してもらうプログラムが1989年に始まりました。これにローレンスの先生を加えていただきたいとの強い願いが白浜先生にはあり、日本人保護者とともに奮闘努力され、ようやく、1995年からローレンス校からも日本に先生が一人派遣されるようになりました。これがSET-Jの前身です。過去に前々年度の校長先生、副校長先生、教育委員長、二名の先生が派遣されています。1999年には上記後援によるプログラムは終了してしまいましたが、2002年より日本人EL教師、石坂先生（亜希子先生の前任）と日本人保護者有志が、ローレンス校で独自にSET-Jを立ち上げ、日本人保護者の運動により継続しています。ローレンス校で日本人コミュニティーは温かく迎え入れられているとはいえ、多くのアメリカ人にとって、やはり日本は遠い上に言葉も生活様式も全く異なります。アメリカ人教諭に日本の習慣、文化や教育を理解してもらう事にこの派遣は大変大きな影響を及ぼしています。

アメリカ人教諭だけでなく、長期休暇に毎年ローレンス校生徒や保護者が日本を訪問し、ローレンス帰国生を訪問していることも、我が校の特徴と言えるでしょう。

2011年3月11日の東日本大震災の際には、ローレンスコミュニティーが一体となり、計\$10,790以上の募金が在ボストン日本国総領事館を通して日本赤十字社に送られました。他にも千羽鶴、サポートリボン、メッセージカード作成、チャリティーコンサートなど、さまざまな日本に対する支援を受けました。また2016年4月の熊本地震の際にも、計\$620の募金が放課後1時間で集まりました。

多くの方が遠くの日本を案じてくださり、ローレンスコミュニティーの日本に対する思い入れにあらためて、感銘をうけた方も多いと思います。

IV-2) ローレンス校の日本人主催のボランティア、イベント

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、例年のPTOイベントの予定が立っておりませんが、新しく来られた方のためにご参考までに一昨年度の予定を掲載しています。

☆Japanese Fair (11月)

Japanese Food Fairは、秋にローレンス校の生徒、家族および先生方を対象に日本食を楽しんでもらうイベント、Japanese Fun Fairは、春に日本の文化を楽しんでもらうイベントです。以前は秋のJapanese Food Fairと春のJapanese Fun Fairがありましたが、2015年から日本人だけのフェアは秋のJapanese Fairのみとなりました。

収益は全てPTOに寄付されます。このフェアは、ご自分にできる範囲で、日本人保護者全員の参加を目指しています。**(昨年度は春にオンラインフェアという形で行いました。今年度も新型コロナウイルス感染の影響で、以前のような形式で開催できるかは不確かですが、Japanese Fairを11月に開催する準備を進めています。)**

<Japanese Fair>

Japanese Food Fairは、日本食を理解してもらえない環境を変えようと、少数の日本人家族と日本人EL教師により、1979年から始まりました。昔は、日本人ELは独自にイベントを行っていましたが、2002年からは、PTOに組み込まれ、今では、ローレンス校全体に日本食を理解し、楽しんでもらうための大きなPTOイベントとなっています。ローレンス校では、日本食は大人気で、昼食の際には、ただの白いごはんやおにぎり、海苔を、交換してほしいと頼むアメリカ人の子供も多くみられます。また、昔と違って、昼食の際にお弁当箱やお箸を普通に使える環境になりました。

以前は冬に行ったこともありましたが、ここ数年は、秋に、Japanese Food Fairが行われています。9月から新生活をスタートされている方にとっては、この機会にたくさんの方と知り合い、学校生活を子供とともに楽しむことができます。

2015年から日本人だけのフェアは秋のJapanese Fairのみとなったため、日本食だけでなく、日本の小物やクラフト販売も一緒に行っています。日系スーパーや美容院、日本食レストランなどからも寄付金や販売品の協賛をいただいています。

Q-1) Japanese Fairでは、必ず目安の食品の量を作らなければいけませんか？

- A)** 経験した方は、お分かりでしょうが、ローレンス校の皆が、大変楽しみにしているイベントのため、多くの人に日本食を購入してもらえよう、目安の量（たとえば2時間程度で作成できる量；塩おにぎりは6合、のり巻きは3~4合、いなりずしは2缶、32個、焼きそばは6玉、唐揚げは2~3ポンド、ブラウニーは3箱など）を決めています。ですが、**これはあくまで目安であり、各自で協力していただける範囲で全く構いません。**都合により、当日食品提供や参加が出来ない方は、寄付金、もしくは食材（日本のお菓子やお米、海苔など）の寄付という形で参加していただけます。来られたばかりの方には、どこで日本食材を購入したら良いのか、炊飯器もないのに、といった声も聞かれます。分からないこと、困ったことは何でも、担当者に、御相談下さい。

Q-2) Japanese Fairでは、決められた食品しか作らないといけませんか？

A) 日本食は大人気ですが、やはり、慣れ親しんだ、塩おにぎり、のり巻き、いなりずし、焼きそば、唐揚げ、ブラウニーなどに人気があります。ですが、他の日本食を提供していただいても全く構いません。過去には、具入りおにぎり（わかめ、ウインナー、ツナマヨネーズなど）、うどん、カレーライス、みたらし団子、菓子パン、総菜パン、ケーキ、クッキーなど様々なものがあり、大人気でした。アレルギーの問題がありますので、事前に担当者に相談してみてください。

Q-3) 当日のお手伝いが出来ないのに、食品寄付だけでもいいのでしょうか？

A. もちろんです。人によって、できるボランティアの範囲は異なります。またお互いに協力者である、他の人と比べる必要はないということを良く理解しましょう。

Q-4) なぜJapanese FairをFamily Fun Night/International Nightに組み込まないのですか？

A) 今では日本人に理解のあるローレンス校でも、昔は、もちろん、差別があり、全く日本人に対する理解のない状態であったことを知って下さい。フェアやクラス内でのボランティアなどのローレンス校での日本人の長年の努力の結果、日本に対する評価が変わり、日本人に居心地のよい状態になったのではないのでしょうか。

Japanese Food Fair とJapanese Fun Fairは、1979年から続いています。International Nightが始まったのは、2008年からです。残念ながらInternational Nightは、ボランティアの数の減少、代表不在により、2013年からFamily Fun Nightに組み込まれました。

日本語ELがあり、外国人の中の60%を占める日本人生徒がいるローレンス校ですので、日本人だけで行うボランティア活動がいかに地域社会や学校に貢献しているかということをアピールすることはとても重要だと思います。もちろん、時間のある方は、是非、積極的にFamily Fun Night/International Nightにも、ご参加、お手伝いをお願いいたします。

Q-5) なぜJapanese Fun Fairを色々な国の文化を紹介するInternational Nightに変更したのですか？

A) Japanese Food Fair とJapanese Fun Fairは、1979年から続いていましたが、ピーク時には100世帯前後あった日本人家族が、最近では60世帯前後となりました。また日本人世帯は、春の入れ替わりが多く、乳幼児のおられる家庭も多いことが指摘され、春のJapanese Fun Fairを負担に思う方が増えてきました。一方、ローレンス校には、日本人以外にも40-50%近くの外国人が在籍しており、それらの家庭から、Cultural Fairを行いたいという声も上がっていました。そこで、日本人だけのJapanese Fun Fairを色々な国の文化を紹介するInternational Nightに変更しようかという案が出され、2017年4月に初めて、大きなInternational Nightを開催しました。

Q-6) 材料費を請求してもいいですか？

A) もちろん、材料費は請求していただいて結構です。当日までにレシートがあれば、材料費は返金することが出来ます。ローレンス校では、日本人だけでなく現地の方も、PicnicやFamily Fun Nightなどで、材料費を含め、いろいろなものを寄付しています。人により、材料費は要らないという方と、必要だという方がおられると思いますので必要な方は、ぜひ、担当者に請求して下さい。

Q-7) 小さい子供がいるので、なかなか参加できません。

- A)** 都合により、当日食品提供や参加が出来ないといった方には、寄付金、もしくは食材（日本のお菓子やお米、海苔など）やその他の寄付という形で参加していただけます。また、ここ数年は、お友達同士でお子様を預けあって、参加していただくための場所も確保するよう努めていますので、お手伝いをしたい方はぜひご利用下さい。また、小さい子供がいるため、当日お手伝いが出来なくても、会場でその場の雰囲気を楽しんだり、品物を購入して、参加していただくだけで充分です。お子様の当日の様子によって、当日飛び入り参加でも大歓迎です。分からないこと、困ったことは何でも、担当者に御連絡下さい。

☆ふらんしす通りから（月刊）

日本人家庭保護者の皆さま宛に学校生活や海外での暮らしに役に立つ情報をニュースレターとして月に一度配信しています。

<目的、内容>

日本とアメリカでは、学校内だけでも、行事、習慣の異なることが多くあります。ローレンスPTOからは毎週 *PTO newsletter* が送信され、毎月1回のPTO meetingもありますが、ローレンス校へ新しく来られたばかりの方には、学校やPTOの出来事を把握することは、言語の違いもあり、なかなか難しいことです。このニュースレター“ふらんしす通りから”では、学校からのお知らせ、PTO meetingの報告はもちろん、海外生活（買い物、イベント、習慣など）、習い事、サマーキャンプなどのお役立ち情報、季節ごとのオススメお出かけ情報など、新しく来られた日本人の皆さんが、元気に楽しくアメリカ生活を送れることを願って、情報が発信されています。

このニュースレターも、もともとは、最初の日本人EL教師、白浜先生の時代より始まり、2000年までは手書き2-3枚程度だったそうです。また、以前は、印刷して、各家庭へ配布していましたが、手間の簡潔化、ペーパーレスを目指して、2009年6月号から、電子版の配布に代わっています。会議も簡潔に月1回の会議だったものを2010年からは2~3カ月に1回としています。

<仕事内容>

ミーティングは基本的には2~3ヶ月に1回です。交代で原稿作成の担当をしていただきます。各家庭へメールにて配信しています。また、ELと協力して、日本人名簿のアップデート、管理も行っています。

Q-1) PTOから毎週メールが来ており、日本人向けだけのニュースレターは必要ないのでは？

- A)** 英語に慣れていて、すでにアメリカ生活をご存知の方には必要がないかもしれませんが、ローレンス校へ新しく来られたばかりで、アメリカの習慣をあまり分からない方には、大変重要な情報源であると思います。

Q-2) コンピューターの使い方が分かりませんが何か出来ますか？

- A)** 特別な知識は必要としません。パソコンでメールが出来る方なら、どなたでもできるボランティアです。パソコンが苦手の方は、先輩の担当者が一緒に組んで活動します。

Q-3) 小さな子供がいるのですが、大丈夫でしょうか？

- A)** もちろん、大丈夫です！2~3カ月に1回開催されるミーティングには、赤ちゃんを連れての参加も大歓迎です。出来る範囲で活動に参加していただければと思います。お父様のご参加も大歓迎です。

(現在は新型コロナウイルスの影響でオンラインでのミーティングを行っております。)

Q-4) 原稿のテーマがありません。

A) 短期間の滞在者が多いため、また入れ替わりが激しいため、毎月のテーマは大体決まっております、過去のニュースレターからテーマをまとめることができます。また、担当の委員でなくても、臨時で、インタビューや特集を書かれる方もおられます。

(現在は新型コロナウイルスの影響で例年通りの特集を掲載するのが難しいときもありますが、その時期にあったテーマをその都度検討しております。)

【参考】 各月の主なテーマ

6月号・・・ビーチ、プールお出かけ情報、日本へのお土産情報。

10月号・・・ハロウィン、紅葉スポット情報。

12月号・・・スキー、スケートなど冬のお出かけ情報。

Q-5) 来たばかりなのですが、できるでしょうか？

A. できます！大歓迎です。出来る範囲で活動に参加していただければ大丈夫です。子供の同級生以外の保護者の方とお話する機会が持てるので、ためになる情報が得られます。

☆SET-J (Sending Educators To Japan):ローレンス校の教諭を日本に派遣する委員会 (通年)

毎年、ローレンス校の教諭1名を日本に派遣するという PTO 活動の一つです。

<プログラムの目的>

1989年よりボストン日本人会、在ボストン日本領事館、ボストン日本語学校、メドフォード教育委員会が後援してアメリカ人教諭を日本に派遣し、日本の教育、文化、習慣を理解して貰うプログラムが始まりました。日本人ELプログラムのあるローレンス校教員にもこのプログラムを体験していただきたい、また、当時の米国は不況で、バイリンガル教育などの予算がカットされる恐れがあり、その必要性を理解して貰いたいと考えた、日本人家族と日本人EL教師により、ようやく、1995年からローレンス校からも日本に先生が一人派遣されるようになりました。これがSET-Jの前身です。過去に前々年度の校長先生、副校長先生、教育委員長、二名の先生が派遣されています。1999年には上記後援によるプログラムが終了してしまいましたが、2002年より日本人EL教師と日本人保護者有志が、ローレンス校独自のSET-Jを立ち上げ、日本人保護者の運動により継続しています。ローレンス校で日本人コミュニティーは温かく迎え入れられているとはいえ、多くのアメリカ人にとって、やはり日本は遠い上に言葉も生活様式も全く異なります。アメリカ人教諭に日本の習慣、文化や教育を理解してもらう事にこの派遣は大変大きな影響を及ぼしています。

このSET-Jは、TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages, <http://www.tesol.org/about-tesol>) という、英語を母国語としない人たちへの英語教育に関する世界最大の学会が、2010年にマサチューセッツ州で開かれた際に、ローレンス校がEDUCATIONAL SITE VISITの場所の一つとして選ばれるきっかけにもなりました。世界各国の英語教育の教員たち(3名の日本人教員を含む)が学校見学に来られ、SET-J代表者と派遣された先生を含むパネルディスカッションが行われました。こちらからの働き掛けがあったわけでもないのに、国際的なこのような学会からも注目されたという事実に、SET-Jの派遣がどれほど貴重で注目されているのかということを知りました。

<プログラムの内容>

日本では、約10日間かけて各地を回り、平和記念公園や小・中学校などの訪問、ホームステイも体験します。以前は11月の派遣でしたが、2014年から6月末から7月の派遣に、2019年は4月の派遣に変わるなど様々

な状況に合わせて派遣時期も変更しています。日本全国に数百人いるローレンス帰国生・御家族の方々、またはSET-Jの活動に興味を示してくださる他機関のご協力をいただき、アメリカと日本で連携を取り合いながら、毎年この派遣旅行が行われています。派遣された教諭は、この貴重な体験を、毎年、全校生徒、保護者へ報告しています。

2002年から派遣された教諭については、ローレンスPTOホームページのSET-Jのページ<https://www.lawrenceschoolbrookline.org/set-j>にもあげられています。これらの教諭は、毎年2月に募集され、3月に校長先生、PTO会長、SET-Jメンバーで、誰が派遣されるかが決定されます。

(一昨年度と昨年度の派遣計画は残念ながら中止となりました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大を鑑みながら、引き続き活動内容を検討していく予定です。)

2020-21 派遣中止

2019-20 派遣中止

2018-19 Mr. Jon Weinberger (4th grade)

2017-18 Ms. Katy McGraw (Math Specialist)

2016-17 Ms. Jessica Gordon (Kindergarten)

2015-16 Ms. Terry Jewell (Literacy Specialist)

2014-15 Ms. Keryn (Gannon) Steckloff (2nd grade)

2014-15 *Ms. Maggie Russell (2nd grade) *BEF's Adam Russell Award

2013-14 Ms. Dianne Muendel (Literacy Specialist)

2012-13 Ms. Emily Romm (EL)

2011-12 Mr. Ryan Keser (7/8th grade, Science)

2010-11 Ms. Kirsten Alper (Computers)

2009-10 Mr. Greg Porter (5th grade)

2008-09 Ms. Kris Frye (1st grade)

2007-08 Ms. Jill Puleo Demsey (2nd grade)

2006-07 Mr. Mark McAneny (4th grade)

2005-06 Ms. Erica Cifrino (PE)

2004-05 Ms. Dominique Ferdinand (Kindergarten)

2003-04 Mr. Jeremy Ward (3rd grade)

2002-03 Ms. Pamela Charpentier (6th grade, Social Studies)

<SET-Jの仕事内容>

SET-Jでは、月1回のミーティングを基本とし、旅程・訪問地・訪問校の決定、宿泊先や旅券の手配、平和記念公園訪問の設定、訪問地に関するサポートなど、派遣教諭に合うスケジュールを組みます。学校訪問に関しては、訪問校と相談しながら、アメリカ人教諭に触れて貰いたい項目などを列挙し、アメリカと日本の学校の差異などを感じて頂く事により、日本人生徒に対する理解を深めてもらおうと企画をたてています。

また、ローレンス校で、SET-Jについて、理解してもらうためにFamily Fun @ International Night (3月)、Spring Picnic (6月)には、ポスターやテーブルを出し、ローレンスコミュニティー全体でこのSET-Jに取り組んでいるのだということを示しています。派遣教諭が平和記念公園を訪問する際に持参する千羽鶴作成も、ローレンスコミュニティー全体で行い、ローレンス校の風物詩となっています。SET-Jの費用はすべて、PTO

から出されていますが、少しでも、費用を補うために、SET-Jでも、おにぎり販売やヨーヨー釣りをSpring Picnic（6月）で行っています。このようにSET-J内には色々な活動がありますが、派遣教員が体験してきたお話を聞くとときはなんとも言えない嬉しい瞬間です。

以前は、SET-Jメンバーが、ローレンス帰国生・御家族の方に、メールや電話で連絡を直接とっていたため、手間がかかっていましたが、現在では、SET-Jはブログ（<http://set-jlawrence.blogspot.com>）を立ち上げ、皆が、簡単に状況を把握できるようになっています。

<Rick Rogers前校長先生からのメッセージ>

ローレンス校の特徴の1つでもある多様性を支えている日本人コミュニティは学校職員及び生徒保護者からとても尊敬されており、SET-Jが我が校にもたらす影響は非常に大きいものと言えます。

派遣される教師が日本文化を実際に見て理解を深める事でローレンス校に戻ってきた後も日本人生徒やその保護者達との関係を築く際に役立ち、またその体験報告を聞く事により生徒側の日本文化への理解にも繋げる事ができるのです。

学校関係者全ての人々が我が校がこうした派遣プログラムを運営している事を誇りに思い、かつアメリカ人家庭の方々にも日本人コミュニティの学校への貢献度の高さが伝わっていると信じています。

Q-1) 平和記念公園訪問は必要ですか？

A) Rick Rogers前校長先生からコメントを頂きました。

平和記念公園訪問は、毎年千羽鶴を奉納する大切なローレンス校の伝統行事だと考えています。

千羽鶴を届ける事は日米間の平和と友好を示す素晴らしい行動だと思います。高学年の先生にとっては、聞いてきた事、感じた事を持ち帰る事ができる貴重な場であり、クラスで戦争について意義深い議論をする事ができます。アメリカ人教諭にとって、日本人が語る歴史を聞く事ができる価値ある機会です。平和記念公園は世界遺産であり、平和を説き、戦争はどんなに破壊的なものであるかを伝える場所です。平和記念公園を訪れた全ての教員が、極めて訪れる価値のある場所であると言っています。

Q-2) SET-J は英語を話せる方がされているのですか？

A) いいえ、そんな事はありません。ほとんどの作業は日本にいるローレンス帰国生の保護者の方との連絡作業や情報提供などで、日本語で活動を行っています。

Q-3) 小さい子供がいるのですが参加できますか？

A. お子さんを連れての出席も可能です。また、毎回会議に出席する必要はありません。ご自宅でご自身のペースで出来る担当もあります。

Q-4) ピクニックだけ、あるいは千羽鶴作成だけのお手伝いでもよいでしょうか？

A) もちろん構いません。いつでもお手伝いは大歓迎です。

Q-5) どうして、ピクニックでおにぎり販売やヨーヨー釣りを行っているのでしょうか？

A) SET-J について理解してもらうために、多くのローレンス家族が訪れるSpring Picnic（6月）には、ポスターやテーブルを出し、ローレンスコミュニティ全体でこのSET-Jに取り組んでいるのだということを示しています。SET-Jの費用はすべて、PTOから出されていますが、少しでも、費用を補うために、SET-Jでも、おにぎり販売やヨーヨー釣りなどを行っています。

Q-6) Japanese Fair の収益とSET-Jの予算は関係あるのでしょうか？

A) Japanese Fair の収益はすべて、PTOに寄付され、学校全体のいろいろなPTOのイベント、教育プログラムのための費用に使われています。SET-Jの費用は、フェアの収益とは関係なく、全て、PTOから出されています。

Q-7) SET-Jの予算以上に必要経費がかさんだ場合は、日本人コミュニティが、お金を集めなければならないのでしょうか？

A) そんなことはありません。SET-Jの予算以上に必要経費がかさんでも、必要経費は全てPTOから出されます。

V. ボランティアをやってみたいと思ったら、、、

🌀 自分ができること、やりやすいことを見つけてみましょう！

- ✓ 自分の趣味や日本でしていた仕事を活かせる活動
- ✓ 気が楽な日本人だけの活動
- ✓ 小さい子供いてもできること、自分のペースでできること
- ✓ 英語が得意でなくてもやり方さえわかればできること
- ✓ 英語が得意だからこそできること

など、先輩ママ・パパやPTO役員、各担当者に具体的になにができるのか聞いてみるのもいいでしょう。

🌀 ボランティアには勇気と積極性が大切です。

待っていても誰も指示してくれないかもしれません。勇気を出して一歩踏み込んでみましょう。

また、仲間やたくさんの人と知り合い、協力しながらやってみましょう。

🌀 あくまで、無理をせず、自分のペースでやってみましょう。

自分には無理そうだなと思った時には「No」ということも大切です。

VI. よくある疑問・質問

Q-1) 毎回、おにぎりの募集がある度に、おにぎりを持っていかないといけないのでしょうか？

A) そんなことはありません。各ご家庭の状況（子供が多い、小さい、仕事がある、パパが忙しい、慣れるのに精一杯など）に合わせて、自分で決めていいのです。今回は無理かな、とか少しだけ手伝おうかな、とか何かできることがあるか聞いてみようかな、という具合に**その時の自分の状況に合わせてみて下さい。**

Q-2) なぜ、日本人にだけ、おにぎりの募集がこんなに多いのでしょうか？

A) 日本人主催のイベントのほかに、学校全体で主催するイベント（Family Fun @ International Night, Spring Picnicなど）、クラスイベント（ブレックファースト、2年生のJapan Unitなど）があり、日本人だからではなく、ローレンスの保護者としてお手伝いをお願いされているため、おにぎりの募集が多く感じられるようです。現地の方も、毎回、Baked Goods の寄付を頼まれています。ローレンス校ではおにぎりが大人気のため、おにぎりでもOKですよと呼びかけられています。

あくまで、自分の出来る範囲で、無理のないよう、御協力下さい。

Q-3) 委員・代表はどのように決められるのでしょうか？

A) 希望者がいる場合には、希望者をお願いしています。年度途中で希望して入っていただくのも、大歓迎です。近年、委員や代表になって下さる方が減っているため、**今後もし、希望者がいない場合のみ、委員や代表を公平で円滑に選出するために、以下の基準によって委員や代表をお願いすることを検討しています。他に何か良い案のある方は、ELまでご連絡ください。**

1.委員選出方法— 3つのボランティアグループ（フェア、ふらんしす、SET-J）ごとに最低6名ずつ選出。

(ア)各家庭からの調査票をもとに、希望者がいる場合は希望者を優先させる。希望者がかたより、その他のグループの希望者が足りない場合は、下記の希望者がいない場合と同様の基準に従って選出される。

(イ) 希望者が6名未満の場合は次の順位に従って選出される。

- 1)委員未経験者で 本校在籍年数の最も長い家庭
- 2) 1)に該当する家庭がない場合、委員経験者で経験年度の最も古い家庭
- 3) 1)~2)において同等条件の家庭が複数の場合には抽選とする。抽選はEL教師が行う。

(ウ) その他

事情により年度途中で委員を交代しなければならない場合も、同じ選出方法により後任が選出される。

2. 委員選出対象から免除される家庭

- ・選出時より3ヶ月以内に退学・休学が決まっている家庭
- ・当該年度の9月1日現在で2歳未満の乳幼児がいる家庭
- ・当該年度中に出産の予定がある家庭
- ・家庭内に健康上の理由、特別な理由がある場合

ただし、上記に該当する家庭でも、委員を希望することはできる。

3. 代表選出方法 — 3つのボランティアグループ（フェア、ふらんしす、SET-J）ごとに最低2名ずつ選出。

(ア)各家庭からの調査票をもとに、希望者がいる場合は希望者を優先させる。希望者が5名以上いる場合は、下記の希望者がいない場合と同様の基準に従って選出される。

(イ) 希望者がいない場合は次の順位に従って選出される。

- 1-1) フェアの場合は1回でもフェアを経験した家庭から代表未経験者で本校在籍年数の最も長い家庭
 1-2) ふらんしす、SET-Jの場合はその時点での委員から代表未経験者で本校在籍年数の最も長い家庭
 2) 1)に該当する家庭がない場合、代表経験者で経験年度の最も古い家庭
 3) 1)～2)において同等条件の家庭が複数の場合には抽選とする。抽選はEL教師が行う。
 (ウ) その他

事情により年度途中で代表を交代しなければならない場合も、同じ選出方法により後任が選出される。

Q-4) ボランティア活動を積極的に参加している人と全く関与していない人の差が感じられ、不公平では？

- A)** ボランティア活動は、あくまで自分から進んで行う活動です。出来る人が無理せず、出来る範囲で行うものなので、**差がある、不公平だ、と考える必要はありません。**
 担当者の仕事を負担だと大変そうに感じる方も多いようですが、本当に担当者はただ負担と感じているだけでしょうか？ 続けていくと、たくさんの発見や喜び、充実感、満足感が味わえるものです。思い切って、直接担当者と話してみてもいいでしょうか？

Q-5) ボランティアに積極的に参加している人の輪が出来ていて、情報が伝わっていないように感じますが？

- A)** ボランティアには勇気と積極性が大切です。待っていても誰も指示してくれないかもしれません。もし、興味がありましたら、ぜひ、担当者に聞いてみて下さい。担当者も自分だけの考えでは、判断が偏ってきます。**多くの人が活動に参加することで、よりよいボランティア活動に変えることが出来る**と思います。

Q-6) せっかくSET-Jで先生を派遣しても、その先生がいなくなることもありますか？

- A)** 派遣された教師が数年でいなくなることはありますが、毎年、派遣直後には、派遣された教師がこの貴重な体験を全校生徒、保護者へ報告しています。
 日本文化を実際に見て理解を深めた教師がいることは、派遣された教師だけでなく、他の教師の日本人生徒やその保護者達との関係を築く際にも役立ち、また毎年体験報告を聞く事によりこちらの人々の日本文化への理解にも繋げる事ができます。派遣教師が我が校にいる時だけの影響ではありません。地域社会への還元にも充分役立っているものと考えて下さい。

Q-7) 日本人だけで固まらず、現地の人と一緒に出来るような活動をした方が良いのでは？

- A)** 人によって得手不得手があると思います。またいらした時期によっては慣れない生活でストレスもたまっていて、そんなときは日本人同士、自由に自分の気持ちを表現できる日本語で活動したほうが楽しいかもしれません。もちろん、もっと現地の人と一緒に活動したいということであれば、ローレンス校でのボランティア活動にはそのチャンスがたくさんあります。日本人コミュニティの中だけでなく、**ローレンス全体のコミュニティにどんどん入っていただくことが理想的な姿だ**と思います。
 参考までにローレンス校全体のボランティア活動の種類と内容について、次ページにあげてみました。

【参考】ローレンス校全体のボランティア活動の種類と内容

(ローレンスPTOのhttps://lawrenceschoolpto.membershiptoolkit.com/Open_Formsを開けると、ボランティアにサインアップすることができます。)

- ①その日だけのお手伝い
- ②短期間のお手伝い
- ③年間を通してのお手伝い

イベントの内容はP.8-9を参考にしてください。詳しい情報は亜希子先生や先輩日本人ママ・パパに聞いてみるのもいいでしょう。興味があれば、PTO委員、担当者に連絡をとってみましょう。なお、学校でボランティアをするにあたっては、事前に**CORI Form (Criminal Offender Record Information Form)**を免許証やパスポートなどのIDとともに学校オフィスに提出することが必要です。審査に2週間前後かかりますので、早めに学校オフィスに提出してください。Formは学校オフィスにあります。また一度審査に通ると3年間有効です。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、例年のPTOイベントの予定が立っておりませんが、新しく来られた方のためにご参考までに一昨年度の予定を掲載しています。

①Single Day Commitments：その日だけのお手伝い（企画、準備、後片付けも必要です。）

イベント名（時期）	時期	ボランティア内容
Fall Picnic Spring Picnic	9月 6月	ピザやBaked goodsの販売、Cake Walkの進行の手伝い、SET-J主催のおにぎり販売テーブルやヨーヨー釣りの手伝いなど。
Picture Day	10月	撮影場所までの子供の引率、列の整理。撮影場所では、申し込み用紙のチェックや撮影の補助（傘もちなど）の手伝い。
Food Fest	10月	食や栄養に関するゲームや展示の手伝い。寄付集め。
Japanese Fair	11月	店舗への寄付依頼、日本食の作成、会場設営、ポスター作製、販売の手伝い。（p12参照）
Apple Pie Making	11月	放課後にアップルパイの作成、配達の手伝い。（5年生以上の生徒と保護者のお手伝いが可能です。）
Movie Day	12月 4月	映画上映に際し、事前のチケット販売、当日の生徒の入場チェック、上映中の生徒の監視、映画終了後の保護者への引き渡しのチェック。
Staff Appreciation	12月 5月	学校スタッフへの謝恩会（軽食会）を開く際の、部屋の飾りつけ、食品作成、後片付けなど。
Legacy Fund	10月	PTOから全家庭に寄付をお願いする手伝い。
Family Skate	2月	スケートリンクの予約、広報、後片付け。
Family Fun @ International Night	3月	イベント準備、片付けの手伝い。食品販売、各種ゲーム、アクティビティ、スポーツの進行係、チケット販売、各国の文化紹介の企画、雑貨の寄付やクラフト作製、会場設営や片付けの手伝い。（p12参照）
Art Show	4月	生徒の作品展示、当日の受付やお茶菓子（リフレッシュメント）のテーブルの手伝い。キンダー保護者には、軽食作成のお手伝いがあります。
Used Book Fair	5月	古本の整理、販売、片付け。
Fun Run	6月	受付、コースでの参加者の監視、競技進行のお手伝い。Baked goodsの寄付。
Field Day	6月	PEの先生の指示に従い、生徒たちの競技の手伝い。
8 th grade Graduation Reception	6月	7年生保護者が、卒業式後の懇親会のための食品作成、給仕、会場のデコレーションなどの手伝いをします。

②Short-Term Projects : 短期間 (数週間、数か月単位) のお手伝い

イベント名 (時期)	時期	ボランティア内容
Lawrence Logo	冬-春	毎年販売されるスクールTシャツのデザイン募集、申し込み用紙の配布、集計、販売。
PTO Play	12-3月	役者としての出演、大道具や衣装の準備、当日のチケット販売、スナック販売。
Understanding Disabilities	全4回	4年生で行われる障害者について理解するための実習の際に、子供たちが実際に障害者の感覚を体験するため、その実習内容の説明、生徒たちの列の整理、移動などのお手伝い。
Auction	3-4月	各店舗への寄付依頼、様々な店から得たギフトをオークションに載せる (コンピューターへの入力) お手伝い、当選者への配布。
School Garden	夏	夏休みの間に学校のSchool Gardenの雑草抜き、水やりをする当番。

③Ongoing : 年間を通してのお手伝い

イベント名 (時期)	ボランティア内容
Lawrence Special Activities	放課後のさまざまな活動 (アクティビティ) の企画、集計、会計など。何か教えたいという方も是非どうぞ! (過去には日本人保護者による折り紙教室がありました。)
Art Room Volunteer	美術室の整理、画材の補給、生徒の作品の整理などのお手伝い。
Library Volunteer	本の貸し出し、本の整理や掲示板の張り替えなどのお手伝い。
EL図書室のヘルプ	ELで貸し出される日本語図書の整理のお手伝い。
PTO Communications	ホームページの更新、メールの送信のお手伝い。
ふらんしす通りから (p14参照)	日本人世帯への月一回のニュースレターで、記事の作成、編集、メールでの配信のお手伝い。日本人名簿の管理。
SET-J (p16参照)	ローレンス校教師を日本に派遣する旅行の企画、派遣旅行の報告会のお手伝い。ピクニック、Family Fun NightでのSET-Jの広報や千羽鶴作成、発送など。
Performing Arts	さまざまな劇団、公演を学校に招待するお手伝い。
Visual Arts	Artistの招待、Art projectの企画 (美術館訪問や壁画、カメラプロジェクトなど)。
Room Parents	保護者のクラス委員のようなもので、先生と保護者間のコミュニケーションをお手伝いします。